

さいたま市長メッセージ（令和3年9月16日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

9月16日時点での本市のワクチン接種の状況は、12歳以上の接種対象者で1回目の接種を終えている方が59.5%、2回目の接種を終えている方が46.4%となっております。

現在は、若い世代の皆様が、接種を受けやすいように、接種機会の拡大に努めており、旧市民会館うらわの集団接種会場では、予約枠を一日あたり432人に拡大し、会場の受付時間を20時まで延長します。加えて、ファイザー社製ワクチンを接種後、やむを得ず、2回目の接種ができていない方を対象として、2回目接種専用枠を設定します。さらに、新たな接種会場の開設準備も、進めており、引き続き、希望する方が、一日でも早く接種できるよう、全力で取り組んでまいります。

本市では、14日までの1週間で588名の新規陽性者が確認されています。前の週に比べて大きく減少していますが、依然として自宅療養者は、1,600人を超えており、予断を許さない状況です。

本市は、自宅療養者への対応を強化するため、在宅酸素療法が適切に実施できるように、独自で酸素濃縮装置を準備するとともに、自宅療養者を支える訪問看護ステーションへの独自の補助制度を創設します。今後も、少しでも安心して自宅で療養できるように、しっかりと支援してまいります。

政府は、9月30日まで緊急事態宣言を延長しました。今週末には3連休を迎えますが、この期間中に、宣言が解除される水準まで感染状況をしっかりと抑えるために、引き続き、不要不急の外出自粛や基本的な感染

よぼうきく てってい
予防策を徹底していただくようお願いいたします。